

羅針盤



2019年7月12日(金) 第92号

＝ 7月のことば ＝

過去に後悔しなくていい。未来に怯えなくていい。そんなところを見るのではなく、今このときに集中しなさい。

アルフレッド・アドラー

(オーストリアの心理学者、1870～1937)

焦らず、着実に上を向いて

夏休み中の三者面談に向けて「面談基礎資料」に、志望校などをまとめてもらっています。模試の結果を踏まえて志望レベルを下げた方が良いのか、という声も聞きます。早く推薦で決めたい、とか、推薦もやっておいた方が良いか、という声も聞こえてきます。結論を言う。焦るな！ 慌てるな！ 浮き足立つな！ ようやく受験生らしくなったところではないか。下を向くのではなく、上を向いて欲しい。不安もあるだろうが、不安は努力で吹き飛ばして欲しい。

前回も書いたが、模擬試験は自分の学習の定着状態を客観的に知るとともに、目標までの距離(すなわち到達に必要な努力の度合い)を認識するための“道しるべ”だと思います。いま目標レベルを下げることは、絶対に努力のレベルを下げる結果につながるものです。自分がどこまで伸びるか、自身の成長した姿を思い描いてがんばりましょう。保護者の皆様にも、そのような期待を持ってお子様をサポートしていただければと考えています。

同じような理由で、推薦に簡単に飛びつくことにも、あまり賛成ではありません。どんどん伸びる、その手前で自分自身を安売りしてしまうような感じがするからです(表現が厳しいかもしれませんが)。

早く決まってしまうと、やはり勉強にも緊張感がなくなるものです。その結果、十分に自分の力を伸ばしきらないうちに大学に入学することになります。まわりには、一般入試まで努力した人たちばかり。気がつけば、大学での学びについて行けない・・・、というようなことにもなりかねません。推薦を全否定するものではありませんが、こうしたことも十分に考えた上で判断して欲しいと考えます。ご家庭でも十分にお話し合いいただくとありがたいです。よろしくお願いします。

7月	曜日	行事等	週末課題等の予定	朝学習	センターまで
12日	金	平常課外(国語)(5校時授業)		国語	190
13日	土				189
14日	日				188
15日	月	「海の日」			187
16日	火	平常課外(英語)	英・数提出	国語	186
17日	水	平常課外(数学)		英語	185
18日	木	全校集会、夏期課外(理社①)	数学提出	数学	184
19日	金	夏期課外(理社②)		国語	183
20日	土				182
21日	日				181
22日	月	夏期課外(理社③)		数学	180
23日	火	夏期課外(理社④)		国語	179
24日	水	夏期課外(理社⑤) 学校説明会		英語	178
25日	木	夏期課外(理社⑥)		数学	177
26日	金	夏期課外(理社⑦)		国語	176
27日	土				175

初心忘れるべからず。夢は絶対に諦めない！ (「私の決意表明」その10)

「私の決意は苦手な数学を克服することです。解き方は分かっている、実際に手を動かして問題を解き始めると全然できないことがある。とにかくたくさん問題を解いていきたいです。」(1組 佐藤成美)

「高校最後の一年、自分に厳しく過ごしていきたい。私は自分に甘いから、やりたいことを優先してしまいがちで時間を無駄にすることが多い。今年はやるべきことを優先してやるようにしたい」(1組 滝澤日那)

「とうとう最後の一年になりました。この一年は戦う一年。楽しいことにも、苦しいことにも、目標を持って全力で取り組みたいです」(1組 手代木大聖)

「私の目標は、この一年意味の無い時間を過ごさないことだ。「時は金なり」受験生になって心からその通りだと思うようになった。勉強、休息を上手に使い分けて効率よく学習に取り組みたい」(2組 鹿俣千佳)

「明日があるから」を何回言ってきたことだろうか。お互いのダメな部分を励まし合い、改善しようとしなかった友と受験生にならねばならない。時間は有限である。「明日やろうはバカ野郎」この言葉を肝に銘じて日々歩いていこうと思う」(2組 中塚祐輔)

「時間を有効に使って今まで以上に勉強を頑張りたいです。特に数学が苦手なので、課題にも真剣に取り組み必ず復習するようにしたい。生活リズムが崩れているので朝型に変えようと思います」(2組 新藤美咲)

「志望校合格と二度目の全国制覇を目標に、勉強も部活も最後まで手を抜かず、一生懸命取り組みたいです。日常生活や学校行事も思いっきり楽しんで素敵な思い出をたくさん作ります！」(3組 西牧美渚)

「進路実現のために学習をがんばりたいと思います。特に、二次試験で必要とされる英語は、昨年は少しサボり気味でしたが、一層の緊張感を持って取り組みたいと思います」(3組 武田英樹)

「将来こんなことをしたい、という大きな目標が特別あるわけでもなくぼんやりすごしていますが、大学に入り興味を持ち仕事に就いたという話も聞くので今は進学のことのみを考えようと思う」(3組 南條円香)

「進路をきちんと目指すための努力をしたいと思います。特に毎日の積み重ねが大事だと思うので、空いている時間を有効活用して、できるだけ多くのことを身につけようと思います」(3組 佐藤真琴)

「今の時点で(この原稿は4月に書いたもの)自分の志望する大学が明確に決まっていない。しかし、社会で通用する大人になるためには、大学に進学し、教養を身につける必要がある。自分が本当に行きたい大学を決め、いち早く受験勉強に取り組み、来年の今頃笑顔で大学の門をくぐりたい」(4組 山田真尋)

「3年生になった。まだ自覚が薄いような気がするが、来年の1月にはセンター試験がある。ベストを尽くせるよう毎日の積み重ねを意識して勉学に取り組みたいと思う」(5組 三森祐太)

「模試での偏差値を10以上上げて、第一志望の大学に合格できるよう努力します。具体的に、数英は毎日、国は2日おき、理社は週一で勉強して、「抜け」のない内容の濃い勉強をしていきます」(5組 續橋愛菜)

「私は、昔から自然と触れ合ったり生き物を眺めるのが好きで、将来は自然と関わることのできる仕事に就きたいと思っています。理系なのに数学が苦手だったり壁はたくさんあるけれど、一年間頑張りたいと思います」(6組 橋本凧咲)

「私は、高校生活最後の一年を感謝の年にしたい。今までたくさんの人から救いの手や励ましの言葉をいただいた。私はこれからの一年、先生、友だち、そして家族に「ありがとう」の想いをそれぞれの形で伝えていく」(6組 真船壮史)

「自分が志望する大学に合格するために必要なことは「継続する力」だと思います。センター試験まで300日を切っている(この原稿は4月に書いたもの)ことを知り、焦りもあります。明日やろうという考えは甘いと考え、自分に厳しくいきたいです。」(7組 佐藤丈留)

「この一年、直前の勉強ばかりしていたという自覚がある。明日の単語テストのため、来週の考査のため…。今年是一年を通して自分の身になる勉強、大学入試に向けた勉強をしていきたいと思う」(7組 田村紀瑛)

「自分の高校生活に後悔を残さないように何事も全力で行います。勉強はもちろんのこと、部活やクラス行事も疎かにせず、あらゆることに全身全霊をかけていくことを誓います」(7組 鈴木利明)

「今まで以上に勉強と部活を頑張る一年にしたい。受験本番まで時間は短し、部活も忙しくなるので大変になりますが、自分がやるべきことをしっかりとやって、目標実現のため頑張ります」(8組 田代彩乃)

「今1番は自らの苦手を細かく分析し、それによってやらなければならないことをしっかりとやること。当たり前のことだけれど、その当たり前ができていないと前に進めない。一步一步着実に進んでいきたいと思う」(8組 東城美咲紀)

「僕は昨年度、特に提出物の管理を疎かにしてしまい、とても苦しい思いをしました。今年からは、教科ごとに分かれたファイルやメモ帳を使用し、前年度と同じ過ちを犯さないよう心がけたい」(8組 百瀬昭斗)

「志望大学合格のためやるべき事を分析し、効率よく取り組めるようにする。机のまわりをきれいに保つ！」(8組 柳田紗希)